

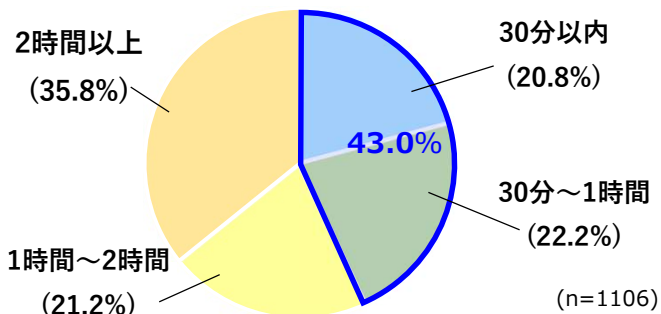
Topics ANPICを利用した登院可否アンケート結果を報告します

10月3日（金）、医学部・附属病院教職員2298名を対象とした、ANPICを利用したインターネット調査による登院可否アンケートを実施し、1106名（48.1％）の教職員に回答を頂きました。その結果の一部をご紹介します。

被害想定

- ・三重県津市で震度7を観測。
約1時間後に7mの津波が来襲し、現在は津波は引いている。
- ・公共交通機関は動いていない。
- ・幹線道路は車両通行不可。
- ・同居家族の安否確認はできていない。

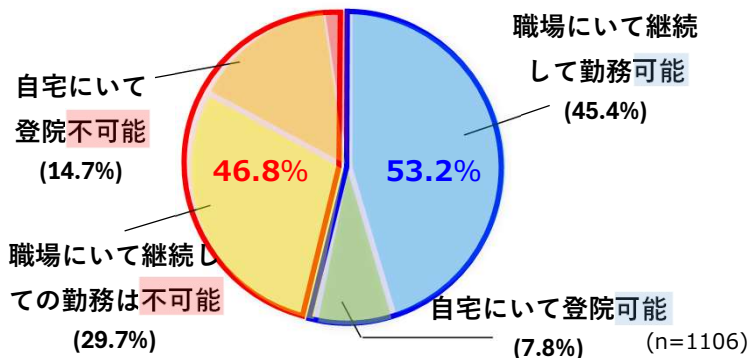
自宅から病院まで、車や電車を使用しないで登院するなら、時間はどれくらいかかりますか？



43.0%の教職員が1時間以内に登院できると回答していますが実際には、道路状況等により、これよりも時間がかかることが予想されます。

左記の想定において、病院の勤務に参集可能ですか？

三重県外にいて登院不可能(2.4%)



53.2%の職員が継続勤務可能/登院可能、**46.8%**の職員が継続勤務は不可能と回答しました。継続勤務が困難な主な理由は『子どもがいること』でした。

- ・平時から災害時の家庭内の対応（子どもや高齢者、ペットなど）も話し合っておきましょう。
- ・当センターでも職員の皆さんが安心して働ける環境を考えたいと思います。

アンケート結果では、自宅の地震対策や登院経路の確認において、**半数以上が未対応**でした。自分や家族の命を守るため、家庭での備えをチェックし、できることから始めましょう。

☐ 照明器具	吊り下げ式の場合はチェーンと金具で数か所固定する。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱性のテープで止める。
☐ タンス・棚	強度のある柱や壁にL字金具で固定。扉に止め金具を付ける。ポール式器具を使用する場合は壁側の位置に設置し、ストッパーを家具手前側に入れる。
☐ 窓	ガラス面に飛散防止フィルムを貼る。



詳細なアンケートの集計結果は、QRコードよりご覧ください。

Topics 備蓄品の一部が外来棟5階に移動しました

11月15日および27日、病棟地下室と倉庫棟(病態医科学研究棟前)に保管されていた飲料水と非常食を**外来棟5階医療倉庫**へ移動しました。今回の移動により、患者・職員・学生の3日分の飲料水がすべて建物の4階以上に確保できました。

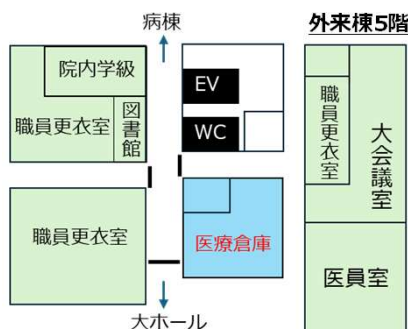
移動にご協力いただいた経営管理課の皆様、ありがとうございました。



飲料水



非常食



ご存じですか？病棟各階のパントリーにも入院患者用の飲料水・非常食(1日分)が保管されています。



薬剤部 薬剤師
湯田 静です

津市総合防災訓練にDMAT隊として参加し、搬送任務で情報伝達の難しさを実感しました。とても良い経験で大きな学びとなり、今後も経験を重ねて院内の災害対策に関わってまいります。

Face 😊



11階南病棟 看護師
石川 翔也です

今回、津市防災訓練に参加させていただき、有事の際に限られた物品やスタッフで患者さんに対応する事の難しさを身をもって体験する事ができました。今後、病棟で働きながらも災害時には何ができるかを考えてまいります。



Topics 令和7年度津市総合防災訓練が行われました

11月23日（日）、南海トラフを震源とする巨大地震を想定した「津市総合防災訓練」が香良洲高台防災公園にて実施されました。当院は、DMAT隊および医療救護班として参加しました。

三重大学病院DMAT隊として、医師1名、看護師1名、薬剤師1名が参加し、津市消防隊と合同で倒壊ビルで下敷きとなった傷病者の救出・救護・搬送訓練を行いました。

医療救護班としては、医師1名、看護師2名が参加し、一時避難所において医療を必要とする住民への診療・処置を行いました。訓練では、実際に9名の住民の方に傷病者役としてご協力いただき、訓練後には応急処置のレクチャーも行いました。



当院の訓練参加メンバー



倒壊ビル救出・救護・搬送訓練



傷病者の処置



住民への応急処置レクチャー

Center Message

寒い季節になりました。津市では一年のうちに雪が降る日が少ないため、雪による災害はあまり身近に感じられないかもしれませんが。そのため、雪の予報が出てから、食料の買い出しや通勤・通学方法を考える方も多いのではないのでしょうか。

建物の倒壊や雪崩などの大きな被害は雪国特有と思われがちですが、雪の少ない地域でも、交通の乱れや水道管の凍結による断水、電線の切断などが起こる可能性があります。また、雪に慣れていないことで、転倒や車のスリップ事故が起こりやすくなる点にも注意が必要です。雪の日は、小さな歩幅で歩く、靴の裏全体を地面につける、滑りにくい靴を選ぶなど、安全を意識して行動しましょう。

また、非常用持ち出し袋の中身は冬仕様になっていますか。非常食は、冷たてもおいしく食べられ、体を温められるものがおすすめです。暖房が使えない場合に備えて、軽くてかさばらないアルミシートや使い捨てカイロなどの防寒用品も準備しておきましょう。（センター臨床工学技士 あ）

災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

Topics 令和7年度三重大学全学津波避難訓練が行われました

11月14日（金）、全学津波避難訓練が行われました。訓練は、10時10分に紀伊半島沖の南海トラフでM9クラスの巨大地震が発生した想定で実施されました。医師、看護師、教職員や学生などが参加し、当院からは看護部、災害対策推進・教育センターより8名が看護学科棟4階の第2救護所の開設・運営サポートを行いました。第2救護所では、救護所の開設から、傷病者のトリアージ、診療・処置、看護ケアを行いました。



トリアージ



診察



骨折の処置

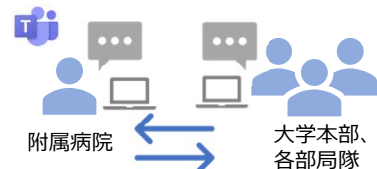


クロノロジー



附属病院本部

大学本部、各部局隊との情報共有は無線機やTeamsを用いて行われました。



NEWS

みらい棟の消防用設備はどこにある？

1月5日から郵便局隣のみらい棟3階で高度生殖医療センターの外来診療が開始されます。

みらい棟3階の消防用設備は右図の配置となっています。

※みらい棟の感知器が作動すると、みらい棟の副受信機のみならず、院内すべての副受信機に表示される仕組みになっています。

みらい棟の副受信機は1階にあります

